

福祉セミナーのご紹介

那覇市では **こころ** のバリアフリーを広げ

みんなが過ごしやすいまちを目指し、高齢者、障がいのある方等へのお手伝いやコミュニケーションの方法を学ぶ福祉セミナーや障がい当事者講話を市内の小学生や事業者の方などを対象に実施しています。

ぜひ ご参加ください!!



障がい当事者講話より

講師
比嘉信子(ひがのぶこ)様

小学6年生の時に、眼病で目が見えなくなりその後、盲学校で様々な訓練を受け克服することができた。今では、仕事もして、趣味の編み物や旅行を楽しんでいる。

旅先で、一番印象に残っているのは「久米島の上江洲家」ふぞろいの石が積まれた石垣が350年以上立っていることに驚いた。人は口があるので悪口も言う。口がない石は、互いに文句も言わずに仲良く立っている。人間社会も様々な人がいる。悪口を言っていじめたりせず **お互いを認め合い、支え合うことが大事!**



第21号

福祉のまちづくり情報

福まちだより

心のバリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり



那覇市では、すべての方が住みなれた地域で、

安心して暮らすことができるよう「福祉のまちづくり条例」のもと

「福祉のまちづくり(福まち)」や「心のバリアフリー」を推進する

取り組みを行っております。

【今号のテーマ】

心のバリアフリーを広げよう
ヘルプマーク・ヘルプカードの紹介

一歩踏み出す勇気で広げる ココロのバリアフリー



● バリアフリースイートイレ

バリアフリー設備を
無意識に使って
いませんか？



● エレベーター

「服を着替えたいから」、「一般のトイレが混んでいるから」といって利用する人がいると、バリアフリースイートイレしか使えない人が利用できなくなります。必要な人が必要な時に利用できる環境を保つように心掛けましょう。

エレベーターは「みんな」のためのものだけど、エレベーター以外での移動が難しい人がいます。利用する前に、周りに本当に必要としている人がいないか確認しましょう。



● 点字ブロック

点字ブロックの上で無意識に立ち止まったり荷物が置かれている場面を見たことはありませんか。視覚障がい者の歩行の妨げになることから、点字ブロックの上にもものを置かないようにしましょう。



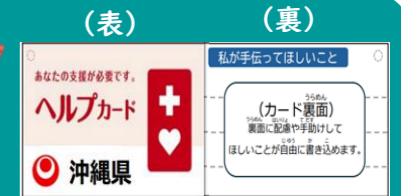
● 車椅子使用者用駐車施設

車いすの人など、乗り降りに広いスペースを必要とする人のために、一般の駐車区画よりも幅が広がっております。「入口に近いから」、「たくさん買うから」といった理由で駐車するのはやめましょう。

- ★どんなバリアがあるか、いつも意識しましょう
- ★何に困っているか、コミュニケーションを取って理解しましょう
- ★困りごとがわかったら、行動を起こしましょう



ご存じですか？ ヘルプマーク・ヘルプカード



教えて？

外見からわからなくてもヘルプマークを身に着けることで援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に、援助を得やすくすることを目的としています。

援助や配慮が必要な方

- 内臓疾患や難病などの病気の方
- 義足や人工関節を使用している方
- 聴覚、言語、視覚障がいのある方
- 発達障がい、知的障がいのある方
- 妊娠初期の方 など



ヘルプマークを身に着けた方が 困っているように見えたとき 周りができることは？



モノレールやバスの中で
席をお譲りください。



駅や商業施設等で、
声をかけるなどの配慮を
お願いします。



災害時は、安全に
避難するための支援を
お願いします。

ヘルプマークを身に着けている方もそれぞれに事情が異なります。困っているように見えたときは、実際に手助けが必要かどうか、直接、聞いてみるのが大切です。

困ったときや災害・事故などの非常事態のときには・・・
声をかけ合える
『那覇市福祉のまちづくり』
を目指しましょう!!

詳しいご紹介



★ヘルプマーク・ヘルプカードの詳細は、沖縄県または市 HP よりご覧ください。



(沖縄県 HP)



(那覇市 HP)